

活動紹介!

樹憧民族音楽院

尺八のサークルです。サークルができてから25年程になるそうです。先生のご指導の下に現在5名のメンバーで、毎週土曜日の夜に活動しています。

古典から現代の音楽まで幅広いジャンルの楽曲を尺八で演奏します。日本の伝統楽器を広く知ってもらい、伝承するためにも力をつくされています。入門大歓迎だそうです。



6月の催しから

○ 4(土)
オフィスエマ ピア / 発表会

○ 5(日)
内野ピア / 教室発表会

○ 7(火)~12(日)
煉瓦の会 絵画展(ギャラリー)

○ 11(土)
谷戸幼稚園
ピア / 発表会

○ 12(日)
こひつじ園音楽教室
ピア / 発表会

○ 19(日)
藤城ピア / 教室発表会
片岡ピア / 教室発表会
子ども劇場(ギャラリー)

○ 26(日)
演劇ひろば(ギャラリー)

これらはあくまでも予定ですので変更もございます。一般の方の参加の可否等、詳細は主催者までお尋ねください。

会館事務室から



今月の話題 - 習熟

マルコム・グラッドウェルという人が著書の中で、「何かに習熟して一流になるのには、1万時間の積み上げが必要だ」ということを述べ、ひと頃「1万時間の法則」として話題になったことがありました。1万時間というと、毎日3時間取り組んだとして、約10年間かかる時間です。

この主張の根拠になったのは、卓越したバイオリニストになった人たちの練習時間の調査でした。さすがにそれだけやればといった、妙な納得感がありました。しかし、この時間の算出には、練習の質と量を分けて考える視点が不足しているとか、持って生まれた才能や環境も習熟の成否に関係しているのではないかと、などといった反論もあります。確かに1万という数字は単純すぎるかもしれませんが、目標が具体的で分かりやすく、努力すればそれなりの成果が実るといった希望と励みを与えた一面もありました。

多くの方々が、何らかの習熟を目指して日夜励んでいらっしゃると思います。計画的でよく考えられた方法によって、出来るだけ1万時間より短い時間で、皆さんの習熟の夢がかなえられることを願っています。「もう歳だから」といって諦めることはありません。まだまだ時間はたっぷりありますから。

